



診断なら 2025新年号

—	目 次	—
◆	新年のご挨拶：会長 渡辺 淳	2
◆	活動報告	
➢	令和6年度「中小企業診断士理論政策更新研修」：理事 横田裕導	3
➢	令和6年度「プロコン育成塾」：副会長 岸克行	4
➢	令和6年度「近畿ブロック会議」：理事 辰己浩平	5
➢	令和6年度「診断助言実務事業」：理事 藤田和代	7
➢	中小企業DX戦略研究会：事務局長 渡辺武久	8
➢	第39回診友会ゴルフコンペ：会員 原田高峰	9
➢	新しい研究会のスタート：会員 竹下富彦	10
➢	奈良活性化研究会：副会長 保延薦	11
➢	中小企業診断士の日：副会長 保延薦	11
◆	ご寄稿記事	
➢	ウェルビーイングから生み出す未来のビジネスや暮らし：会員 林大祐	12
◆	研究会活動状況	
➢	企業内診断士研究会	16
➢	中小企業DX戦略研究会	16
➢	奈良活性化研究会	16
◆	新入会員のご紹介（五十音順）	17
➢	山邊 安則 会員	

新年のご挨拶



渡辺 淳

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年も、国内外の各地で自然災害や様々な困難がありました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。それぞれの地域で皆様が果たされた役割に深い敬意を表します。

さて、2025年は大阪・関西万博が開催される記念すべき年です。テーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」に象徴されるように、2025年が未来を見据えた変革と挑戦の年になればと思います。奈良県を含む地域経済に新たなビジネスチャンスを生み出す絶好の機会でもあり、この大きなイベントを活用し、奈良県内の中小企業も新たな価値創造や発展の契機をつかむことが期待されます。

山下中小企業庁長官の年頭所感でも述べられているとおり、日本経済においては、企業の賃上げが加速しつつあり、国内投資も30年ぶりの高い水準となるなど、「潮目の変化」とも呼べる明るい兆しが見られました。一方で、物価高や人手不足など、中小企業が直面する課題は依然として厳しいものがあります。こうした状況の中、私たち中小企業診断士は、地域の中小企業の可能性を最大限に引き出し、新たな成長への一歩を踏み出せるよう、共に伴走することの大切さを改めて感じております。

本年の干支である「乙巳（きのと・み）」は、柔軟に変化を受け入れながら成長する年とされています。これまでの困難を糧にして「脱皮」を遂げ、新たな挑戦を重ねる中小企業の皆様の力強い発展を後押しすることが、私たち中小企業診断士の使命です。中小企業診断士一人ひとりがその専門性を活かし、より実効性のある支援を提供できるよう、当会一丸となって精進してまいりたいと思います。

最後に、本年が会員の皆様、そして奈良県の中小企業にとって、実り多き飛躍の年となりますよう心からお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

令和6年度中小企業診断士理論政策更新研修実施報告



横田 裕導

令和6年度中小企業診断士理論政策更新研修を令和6年9月7日（土）、10月5日（土）に例年利用させて頂いております大和信用金庫八木支店様の3階大会議室で開催いたしました。昨年度の理論政策更新研修でも取り上げました「伴走支援」を今年度も取り上げ、9月7日は第2講、第3講ともに事業再生の角度からみた伴走支援を、10月5日は第2講で事業再生から、第3講目は知的資産経営からみた伴走支援をテーマに致しました。中小企業のおかれた現状を理解すると共に実践的な方法を学び、日々の中小企業診断士業務にお役立ていただけたらという思いで設定いたしました。

受講されました診断士の先生方が、講義の中で紹介のあった方法等を用いることで、企業の事業性や見えざる資産、計画の進捗が理解しやすくなると共に、平時や有事の場面での伴走支援の必要性、重要性を改めて学べた機会になりました。

《研修内容》

2024年9月7日（土）

- 1 講目 「新しい中小企業政策」奈良県中小企業診断士会 森村 文則 先生
- 2 講目 「中小企業の伴走支援について《事業再生からみる伴走支援を考える》」
奈良県中小企業診断士会 横田 裕導 先生
- 3 講目 パネルディスカッション「中小企業の伴走支援について」
パネリスト：百々公認会計事務所 顧問 豊永 喬氏
(前大阪府中小企業活性化協議会統括責任者)
モデレーター：横田 裕導氏

2024年10月5日（土）

- 1 講目 「新しい中小企業政策」奈良県中小企業診断士会 森村 文則 先生
- 2 講目 「中小企業の伴走支援について《事業再生からみる伴走支援を考える》」
奈良県中小企業診断士会 横田 裕導 先生
- 3 講目 パネルディスカッション「中小企業の知的資産経営について」
パネリスト：有限会社ツトム経営研究所 所長 中小企業診断士 森下 勉氏
モデレーター：横田 裕導氏

令和6年度プロコン育成塾 活動報告



岸 克行

今回プロコン育成塾開催のご指名いただきました。まだまだ紆余曲折の診断士活動を続けるわが身を振り返り辞退すべきかと思いましたが、自分自身も独立前に大阪府協会でプロコン育成塾を受講し、大変得るところが多くありました。微力ながら恩返し思いを込めて担当させていただくことにいたしました。

私が受講させていただいたのは故上宮先生のプロコン塾で、顧問先に同行したあと、ひたすら酒を酌み交わしコンサルタントとはどうあるべきか、人生どう生きるべきかというところを徹底的に熱く語っていただけました。その後もなにかとご指導いただきました。今こうして10年以上コンサルティング業を継続できている力の源泉になっています。

ならば、私としてもこれから厳しい自営業の道に第一歩踏み出される受講者の皆さんに少しでも貢献出来たらと思い開催することにいたしました。しかしながら如何せん私は私の実力なりにしかできませんが、精一杯勤めさせていただきました。

私の育成塾のテーマは「稼ぎ」です。基本的な補助金等の作成支援もなぞりながらも重要テーマは「稼ぎ」と顧客獲得です。「稼ぎ」は提供した付加価値の対価です。ビジネスの本質は相手を幸せにすることなので、幸せを提供した分、稼ぎは上がります。もちろん顧客獲得にもつながります。言ってみれば中小企業診断士の仕事は顧客に正しく「稼ぐ」ことを助言する仕事です。誰でも稼いで診断士に依頼したいのが当然です。

今回はすでに支援活動を展開されている能力の高い診断士をはじめ、多種多様なメンバーに受講していただきました。まだまだ参加された皆さんにお役立ちを提供できたかというと忸怩たる思いは否めません。しかしながらこれからも自分が先輩諸先生から教えていただいたことを少しでも還元していきたいと思えます。

また、今年あまり稼げてない自分への刺激になりました。本講座を担当させていただき、誠にありがとうございました。

令和6年近畿ブロック会議



辰己 浩平

令和6年11月29日（金）ノボテル奈良2階会議室（WATER）において、令和6年度近畿ブロック会議を開催いたしました。

当日は、日本中小企業診断士協会連合会本部の松枝会長、佐野専務理事、事務局の岩月氏および福地氏、大阪府中小企業診断協会の津田理事長、内藤副理事長、京都府中小企業診断協会の坂田会長、西山事務局長、兵庫県中小企業診断士協会の植田会長、塔筋副会長、福井県中小企業診断士協会の川嶋会長、川端副会長、滋賀県中小企業診断士協会の大石会長、和歌山県中小企業診断協会の濱田会長、竹内副会長、奈良県中小企業診断士会の渡辺会長、保延副会長、ならびにオブザーバーとして奈良県中小企業診断士会の岸副会長を含む全理事、計25名が出席しました。



司会は保延副会長が務め、松枝会長、佐野専務理事、渡辺会長が開会挨拶を行った後、各府県協会出席者の自己紹介がありました。

続いてブロック会議に入りました。

最初に松枝会長より、日本中小企業診断士協会連合会本部の令和6年連合会本部重点事業、令和7年度中小企業対策費の概算要求、名称変更にかかわる連合会本部の取り組みについての説明がありました。

その後、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、奈良県の順に、各府県協会長より令和6年度の県協会活動について説明がありました。

最後に、連合会本部および各府県協会との情報交換を行い、会議は閉会となりました。



会議終了後、同フロアにある「EARTH」に会場を移し、懇親会を開催しました。懇親会では岸副会長が司会を務め、日本中小企業診断士協会連合会本部の佐野専務理事よりご挨拶をいただき、続いて佐野専務理事の乾杯のご発声をもって懇親会が開会しました。

懇親会の開始直後は、参加者が静かに着席しながら会食を楽しむ様子が見られましたが、フリードリンクにアルコールも含まれていたこともあり、次第に会場は賑やかな雰囲気となりました。各テーブルでは積極的に名刺交換や情報交換が行われ、席を移動して挨拶を交わす姿も見受けられ、参加者同士の親睦が一層深まりました。

懇親会の締めくくりには、兵庫県中小企業診断士協会の植田会長よりご挨拶をいただき、そのお言葉をもって懇親会が閉会となりました。



令和6年度「診断助言実務事業」実施報告



藤田 和代

令和6年度も、診断士資格更新要件の一つである実務従事ポイントを取得するための機会提供の場として「診断助言実務事業」を、田中道彦会員の指導のもとで、昨年10月～11月において実施しました。

今年度は、奈良県大和高田市の建具・組子の製造を営む事業者様を診断先として、他府県会員を含めた6名の受講者参加のもと、日程通りに完了することができました。

受講者からは、「実務を経験して良い勉強になった」「様々なバックグラウンドを持つ方々と交流でき、それぞれの立場からの意見を聞いたのはよかった」など、診断士間の交流もあり、充実した実務従事となったことが伺える感想をいただきました。



指導員を務めていただいた田中道彦会員、参加いただいた診断士諸氏および診断先の事業者様に対し、本紙面をお借りして御礼申し上げます。

なお、令和7年度も例年通り9月～12月の期間で実施する予定です。

中小企業DX戦略研究会



研究会世話役 渡辺武久
(fwkz5706@nifty.com)

DXDXとさがわしいコンサル業界ですが、さがわしいわりにその実態がわからないのが私の偽らざる現状認識です。しかし、それではいつまでたっても始まらないので、手はじめに研究会でなく講演会というかたちで、診断士会会員を対象に活性化研究会の位置づけで、下記のとおり第一回第二回研究会を開催しました。

6月15日に第一回講演会「DX経営を実現するための中小企業支援講座」講師はITC中部副会長の水口和美様、26名参加、水口さんからの実例を中心とした講演により、水口さんの考えるDX戦略を理解いただけたと思います。しかしこれは水口流DX戦略であり、DXがうたっているすべての経営変革ということではありません。

わたしは「すべての中小企業の経営変革」のためのDXを、中小企業診断士の視点でつきつめるべく「中小企業DX戦略研究会」を立ち上げるよう準備をすすめてきました。そして水口さんの講義の最終段階で出てきた「DX認定」たるものがわたしのめざすゴールではなかろうかと考えました。

8月17日に第二回講演会として「DX認定」を国家プロジェクトとして推進しているIPA(独立行政法人情報処理推進機構)からデジタルトランスフォーメーション部部長の田中雅也様に来ていただき「2024年度最新DXのすすめかた」として講演をしていただきました。23名の参加です。わたしの想定する研究会はこの「DX認定」を診断士がクライアントに指導できるようになることをゴールとすることとしました。

二回にわたる講演会により、奈良県診断士会の研究会として中小企業DX戦略にどう取り組むべきかが見えてきました。それは、いままでのDXが大企業向けで、しかも企業ごとに内容が異なる、中小企業向けのDXがどうあるべきかの検討がまだ始まったばかりであるということです。このような現状で研究会として方向性を明確にすることは困難です。まずは研究会メンバーが考えるDX指標とDX認定申請書を自己学習する方法で研究にとりくんでもらい、最終的には各メンバーが作成した指標と申請書を研究会の成果物とします。

11月16日に成果物提出、令和7年1月11日に最終回として次のステップに移るための情報システム構築ツール(サイボウズ社のKintone)の勉強を行なうことで研究会の終了といたしました。今後は実践フェーズとして会員あるいはそのクライアントからDX認定のコンサルを研究会メンバーが受けることとなります。コンサルを受けたいという会員のかたはまず世話役の渡辺武久にご連絡ください。

ITをテーマとした研究課題まだ多くあります。今後もひきつづき新しい研究会につなげてゆき、診断士会としての研究会活動をさらに活性化したいと思っております。

第39回 診友会ゴルフコンペ開催報告

～奈良県中小企業診断士会の会員親睦・情報交流～



原田 高峰

奈良県中小企業診断士会の年2回春・秋の恒例行事であります「診友会ゴルフコンペ」秋の定例会は、10月22日（火）にレイクフォレスト・ザ・センチュリーコースで開催いたしました。

今回は例年になく好天に恵まれ最高のゴルフ日和となりました。参加いただいたメンバーに「晴れ男」が多かったのではと感謝しております。今回の参加者は（敬称抜き）岩井、須崎、田中、橋本、原田、森村、矢野、分部の8名2組でのプレーとなりました。

栄えある優勝は幹事の原田が初めて獲得いたしました。同伴者の支援でグロス91ネット76.6のスコアでした、2位には矢野様がネット78.4で入賞しました。グロススコアは91から140まででハンディを引いたネットスコアは76.6から100の成績でした、なおメンバー全員の平均スコアは118.8でした。

プレー費は参加費賞品代込で9,600円（ロッカー代がプラス330円ロッカーを使わない選択もあり）一番気候の良いゴルフシーズンのプレーですからプレー費は高くなりますが総額1万円までに収まるように注力しています。

賞品は1位国産牛すき焼き肉450g、2位国産牛しゃぶしゃぶ肉400g、3位マスクメロンと豪華景品がありブービー賞大和ポークしゃぶ用400gも用意しました。他入賞しなかった人には参加賞『洋梨』がありました。今回は8名の参加でしたので参加賞がより良いものになりました。

今回のコンペは秋恒例のレイクフォレスト・ザ・センチュリーコースで少し難易度の高いコースでした。このコースの良さは水と緑の自然豊かさと平日であれば価格もリーズナブルなことです。緊急の場合のキャンセル料も平日の場合、前日までにすれば無料になることで幹事としてはありがたいコースとなっています。また、今回は参加者が8名と昨年より多かったので喜んでます。今後は少しでも多くの方に一緒に参加していただけるように工夫していきたいと思っています。企業内診断士の方も有休を活用して是非ご参加ください。

次回春のコンペは令和7年4月15日（火）を予定しています。1月中頃に正式案内いたしますので予定をして頂き多くの方のご参加をお待ちしています。なお大阪協会他、他協会の知人で参加希望者がいれば是非お誘いください。



新しい研究会のスタート



竹下 富彦

理事会で承認をいただき、そして先日皆様に声掛けした研究会がスタートしました。

“診断士と事業者の架け橋”研究会（愛称：レインボー）です。昨年度の調査研究事業を踏み台として、次のステップです。福田恵一、小西康裕、横山有史、竹下富彦の4名がメンバーです。研究会の目標は、支援活動の事業化です。将来的には実績を積むことで、診断士会での事業化を目指します。診断士と事業者（各支援機関、企業、個人事業主、NPO等）の架け橋となることがミッションです。働きかける対象は、県、商工会議所、商工会、金融機関、士業団体などの支援機になります。

会員皆様の能力、行動力がいかに発揮され、そして事業者のニーズに応じていきたいという想いの船出です。温かく見守っていただければと思います。ご関心があれば連絡ください。

email: to-takesita@nifty.com phone: 080-5312-7841



診断士の日



保延 薦

今年も、開催日時：11月4日（月）19時～19時30分（11月中に再放送あり）で、ならどっとFM（奈良市餅飯殿町5奈良もちいどのビル1階スタジオ）でラジオ放送を行いました。

出演者は、藤本会員、竹下会員、小西会員、保延でした。

聴取者数は、ラジオ放送のため不詳ですが、多くの方に聞いて頂いたはずです。

内容は以下の通りです。

- ・保延から、中小企業診断士の概要等説明：中小企業診断士とはどんな資格であるのか、具体的にどんな役割を果たしているのか等について説明しました。

- ・保延から、奈良県での当診断士会の活動内容・活動計画や、今後の抱負等について説明しました。

藤本会員、竹下会員、小西会員からは、診断士になった理由、現在の活動内容、これからやっていくべきこと等についてお話して頂きました。

当会の周知活動に役立ったと思います。参加された方、視聴して頂いた方、大変ありがとうございます。

活性化研究会

保延 薦

今年度は、昨年度に続き4月に奈良県の金融機関である大和信用金庫様にご登壇頂いたのに始まり、それ以降は、他の中小企業の支援機関との交流を図るため、6月に奈良県プロフェッショナル人材戦略拠点様、8月にジェトロ奈良貿易情報センター様、10月に近畿経済産業局様、12月に奈良県司法書士会様にご登壇頂きました。

いずれも大変勉強になり、また、たくさんの方に参加頂きました。ありがとうございます。また、12月の懇親会にも多く方にご参加いただき、楽しい時間を過ごさせて頂きました、感謝です。

2月は税理士であり、当会の幹事でもある田中様に税理士の立場からご登壇頂く予定です。

今年は、きらっと奈良の会議室が利用できないため、皆様にはご迷惑をおかけします。開催場所について、奈良市以外での開催も行う予定です。

皆様のお役に立てるような企画を立てていきますので、引き続きお時間を作って頂き、ご参加のほど宜しくお願い致します。

ウェルビーイングから生み出す 未来のビジネスや暮らし



なりし価値起点イノベーターズ
林 大祐

【ウェルビーイングについて】

「ウェルビーイング」という言葉が広く知られるようになってきました。
ウェルビーイングとは「心身ともに良好で満たされた状態」のことで次のようなイメージです。

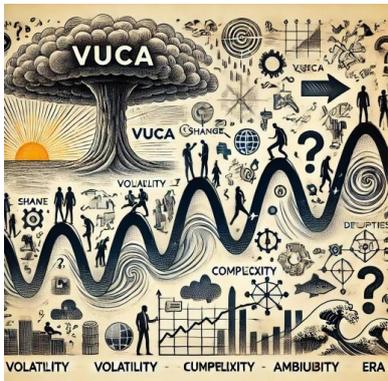
- ・ 定期的な運動習慣や十分な睡眠が確保され、健康で活力がある状態
- ・ 自己実現する、感情が安定する、幸福感を感じられる状態
- ・ 社会的に家族やコミュニティで良好な関係を築いている状態
- ・ 安定した収入や生活基盤がある状態

【垂直的、水平的な発想でウェルビーイングデザインを考える】

従来のビジネスモデルをこれからの時代に合わせたビジネスモデルに転換する際にウェルビーイングが高まる仕組みや環境をデザインする視点が必要になります。
従来の解釈に新たな視点を定めることで、より多くの方に受け入れられるデザインを目指すイメージです。ウェルビーイングを向上させるためには、異なる視点の意見を知る必要がありますが、それが分かれば解決策が比較的容易に実行可能な場合も少なくありません。

ウェルビーイングデザインの可能性

従来の解釈 + 新たな視点



変化に対応して変わる力が必要



共感されてビジネスモデルを創る



従来のラベルを貼りかえる

例えば、「長時間労働の是正」を目指す働き方改革では新たに次の様な課題が発生する可能性があります。

- ・労働時間が短縮され収入が減少する
- ・効率的に仕事をこなせる反面、成長を感じられなくなる

<改善例>

- ・収入を増やしたい社員が長く働ける選択肢を提供する

収入増加を希望する社員に長く働ける選択肢を提供することで、離職率を引き下げ、採用コスト削減や視野の広い社員の育成につながられます。

- ・複数業務を担当する社員を増やす

その結果、社員のやりがいを高められる。また、視野の広い社員を育成できる。

このように社員の多様なニーズを汲み取ったウェルビーイングな制度設計が重要です。ウェルビーイングデザインを考えると余計な問題が発生する事を防止する役割も果たすので有用だと考えます。

【思考の偏りを意識する】

私たちは過ごしてきた環境や経験の影響を受けて、無意識のうちに思考に偏りを持っています。この偏りに気づき、修正することで「柔軟で成長につながる思考」を育むことができます。具体的には「異なるバックグラウンドを持つ人と対話する」、「自分の考えについて問いを立てる」、「批判的思考を養う」、「誰かにフィードバックを求める」、「新しいスキルを学ぶ」、「異業種の人々と交流する」などの行動が挙げられます。

【思考の偏りを意識しよう】

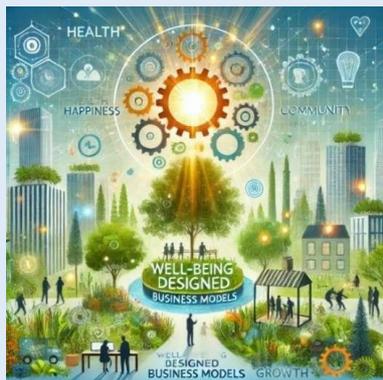
思考の偏りに気づいて受け入れた上で「他者の視点を取り入れる」ことは、よりウェルビーイングな仕組みや環境を整備する際に重要です。柔軟な視点を持つことができれば新たな可能性が開かれるのではないのでしょうか。

【どのような小さな変化を起こせるでしょうか？】

私達は日常の中で小さな変化を起こすことにフォーカスする意識を持つことです。一人ひとりが少しずつ新しい行動を起こすようになれば、組織や社会のウェルビーイングを高める力になります。

「チームミーティングで定期的にアイデアを提案する」

新しいことを提案することで、職場のアイデアや改善革新につながり、自己効力感（自分が組織に貢献しているという感覚）が高まります。これにより、働くモチベーションが向上し、職場全体の雰囲気の改善にも貢献できます。



【活動紹介】

私も個人のウェルビーイングを高めるデザインを考えながら様々なコミュニティで活動をしています。フィードバックでヒントを頂いています。最後に私の活動についてご紹介します。

万博関連の調査研究で近畿経済産業局を訪問



診断士会の調査研究で、以前から交流のある近畿経済産業局の方をお願いして、直接万博関連のお話を伺って貴重な洞察や新しい発見がありました。

同志社大学のワークショップに講師として登壇

**2024 同志社RPL Global Business Diversity
CAREER SEMINAR**
**『各業界リーダーが語る
世界のビジネスの最前線』**
~変革者たちのビジネス思考を通して、
キャリアについて考えよう~

対象 同志生及び全国同志社大学生（大学生生含む）
•自分のキャリアや就職活動について、真実に向き合いたい人
•積極的に新しいことに挑戦してみたいが、どうすればいいかわからない人
•グローバルな視点を取り入れ、視野を広げたい人
•起業家精神を生かして、将来的に業界の変革に取り組みたい人

内容 秋学期 全3回（各学期に2回実施済）
定員：各回100名（事前申込先着順）

第三回：10月18日（金）18:30~19:30
形態：オンライン 会場：Zoom 講師：行政・研究開発
経験：独立行政法人経済産業研究所 講師：コンサルティングプロ 及川 隼太 氏
テーマ：国際競争力比較と日本の成長戦略 経済政策独立系の最新動向

第四回：11月1日（金）18:30~19:30
形態：対面 会場：自心館107集数室（RPL07） 講師：ベンチャー・コンサルティング
経験：ユニズビジネス、Pivk Japan 講師：元社長 坂本 大貴 氏 シニアマネージャー 渡辺 真直 氏
テーマ：スタートアップ成長ドライバー

第五回：11月15日（金）18:30~19:30
形態：対面 会場：自心館107集数室（RPL07） 講師：支店開発
経験：消費者庁長官 後藤 洋行、山形銀行 講師：課長 田 敬之 氏、林 大和 氏 副店長 鈴木 康太 氏
テーマ：銀行業界の変革とRegional Bank経営革新の最新動向

申込 申込期日
第三回<10月18日（金）開催分> ▶ 10月17日（木）23:59まで
第四回<11月1日（金）開催分> ▶ 10月31日（木）23:59まで
第五回<11月15日（金）開催分> ▶ 11月14日（木）23:59まで
各講席の
詳細はこちら

申込方法
QRコード及び申込フォーム：
<https://forms.office.com/r/6N4N4PGaNN>



【主催】同志社大学 学生支援センター × Doshisha Business Platform
【協力】同志社インベーションコミュニティ
【問合せ先】同志社大学学生支援課 ji-gokuse@mail.doshisha.ac.jp



母校の同志社大学のワークショップに講師として登壇しました。留学生も参加されていたので異文化の視点から日本の働き方を考える良い機会となりました。

ウェルビーイングデザイン研究会の新年会へ参加



ウェルビーイングデザインに取り組む研究会の先生方や仲間達と東京のお店で交流しました。あらゆる業界の方が参加されていて異業種間の視点を共有できる場なので、参加してから様々な気づきを得ています。

【ウェルビーイングデザインを考えてみませんか】

私も参加して4年目なので今回はチームを作ってウェルビーイングデザインを形にするための取り組みを進めています。みなさんもビジネスや暮らしの中でウェルビーイングを高める取り組みがあればぜひご教示ください。

研究会活動状況

企業内診断士研究会	
活動の魅力	奈良県図書情報館という知的で落ち着いた空間で、ご自身の研究や経験を活かした体験ができます。「奈良のため」、「次世代のため」、その知見を最大限発揮してみませんか？
会員数	14名
開催頻度	体験学習会&無料経営相談会を年間6回企画実施
入会申込み先	代表 上野浩二 effectuation007@gmail.com
活動内容	実務ポイントの獲得とメンバーのスキルアップを目的とした活動を実施。2013年度より、奈良県立図書情報館において「体験セミナー&無料経営相談会」を開催。

中小企業DX戦略研究会	
活動内容	中小企業のDX戦略の方向性を定める
会員数	7名
開催頻度	月1回 各回で宿題を出し自己学習によりその成果を作成する
入会申込み先	令和7年1月11日で研究会活動を終了したため、新たな会員募集は行なっていない。今後ITの分野であたらしいテーマを見つけ、新たな研究会を立ち上げる予定である。 今年度中（3月末）にテーマの選定、4月より研究会を開始し、会員を募集する。

活性化研究会	
活動内容	<p>会員だけでなく、会員以外の参加も認め、会員の広い知識の向上、会員間、他の方々との交流関係を深めることを行っています。</p> <p>会場費として一部ご負担を頂いています。</p> <p>原則として偶数月の午前中に開催しています。昨年は年末に懇親会を開催し、参加した皆様と皆様の楽しい時間を過ごしました。</p> <p>奇数月に開催する事業再生研究会とも連携しながら、少しでもお役に立つように頑張ります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。</p>
会員数	約80名
開催頻度	2カ月（偶数月）に1度
入会申込み先	毎回参加者募集を行いますので、その際お申込みいただくか、保延宛メール (honobe@tkcnf.or.jp) に連絡ください。 参加して頂く場合、原則として会場費の一部をご負担して頂いています。

新入会員のご紹介

ふりがな	やまべ やすのり	
氏名	山邊 安則	
連絡先	Tel	070-8998-8085
	Mail	maholab@kcn.jp
勤務先または屋号	maholab (まほらぼ)	
登録年度	令和6年度	
転入または重複支部名	なし	
自己紹介	<p>皆様はじめまして。令和4年度合格、令和6年9月に登録、令和6年10月に奈良県中小企業診断士会へ入会いたしました山邊と申します。</p> <p>平成15年に橿原市で、平成25年には奈良市にて餃子専門店「餃子のぞ」を開業運営し、また行政書士開業時には難易度の高いスナックなどの開業のための2号風俗営業許可取得の経験もあります。毎日仕込みをおこない、接客し、借り入れや経理など飲食店経営を実際に行ってきた約10年の経験と、法令や許認可申請の実務に精通していることを強みとしています。</p> <p>また、20、30歳代はコンピュータを使っのゲームの音楽制作や専門学校講師を務めており、クリエイティブ系も得意とするところです。現在は画像生成AI (Stable Diffusion) と Clip Studio を使用して、飲食店開業についてマンガで解説する電子書籍などを作成しています。どの分野においても今後一層 AI を利用する機会が増えると考えており、新しい技術にも積極的にチャレンジしております。</p> <p>ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。</p>	
特技	興味があれば何でも習得してしまうこと	
趣味	勉強・読書	

編集後記 / 本田秀継

- ▽ 会報「診断なら」2025 新年号をお届けします。
原稿をお寄せいただいた皆さまに改めて御礼申し上げます。
次回は夏号です。
次回も積極的なご寄稿をお待ちしております。
- ▽ 毎日寒い日が続きます。充分にご自愛ください。

〒630 - 8217
奈良市橋本町 3-1
きらっ都奈良 3階 302 号
Tel : 0742-20-6688
Fax : 0742-20-6788
e-mail : jsmeca27@m3.kcn.ne.jp

一般社団法人
奈良県中小企業診断士会
<https://www.nara-shindanshi.jp/>